



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

# 広島陵北ロータリークラブ

## - The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

感謝の心と情熱を



田中作次  
2012-13年度  
国際ロータリー会長

第1056回例会 2013年1月23日 No.1027号

### ■ 会長時間



#### 会長 下田 敬三

皆さんこんにちは、お客様ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。

先日の日曜日に、全国都道府県男子駅伝が好天に恵まれ広島市で開催されました。多くの駅伝ファンが熱い声援を送っていました。我が広島県チームは、1区で出遅れたものの、2区・3区(中学生・社会人)が頑張り、30人を抜く快進撃で一挙に13位に上がり、以後は、順調な走りで6位入賞を果たしました。チーム一丸となり、沿道の声援に応え良く頑張ってくれました。監督そして選手の皆さんお疲れ様でした。来年は優勝目指して頑張りたいと思います。

さて、本日は例会の出席率についてお話をしたいと思います。先週の例会で、ロータリーの3つの義務についてお話をさせて頂きました。その中の一つが出席の義務です。この年度に入りまして、6か月が過ぎました、この間の出席率を平均しますと、99%とあと一歩で100%と素晴らしい出席率となっています。25回の例会のうち15回が100%出席となっています。このことは、皆さんが、あたりまえのことかもしれませんが、ロータリークラブへの帰属意識が強い表れだと思います。このことが、ひいてはクラブに活性化が生まれ、そして、会員の維持につながるものだと思います。私たちの親クラブであります、広島北ロータリークラブは、会員数80人で例会出席率が連続100パーセントとなっています。この会員の団結力は、素晴らしいことと思います。私達も大いに見習いたいと思います。ちなみに、2710地区で出席率が高いのは、グループ7そしてグループ6であることを申し添えます。以上会長時間とします。ありがとうございました。

#### 今回の例会(1月31日)

広島北・広島安佐・広島陵北3RC  
合同夜間例会並びに懇親会

#### 次回の例会(2月6日)

#### クラブフォーラム

#### 幹事報告(瀬川幹事)

##### ■ 例会変更

・広島北RC  
「広島陵北・広島安佐・広島北3RC合同例会 & 懇親会」  
【とき】1月31日(木) 18:30～ ※同日夜間に変更

##### ■ お知らせ

・来週30日(水)は、31日(木)3RC合同夜間例会に変更となっております。(18:30～ ホテルグランヴィア広島)

##### ■ BOX配布物

・広島市小学生体育連盟陸上教室より、寄贈の御礼状

#### 出席報告 (例会運営委員会)

|             |     |
|-------------|-----|
| 1月23日(水)出席者 |     |
| 会員総数        | 45名 |
| 出席会員        | 37名 |
| 欠席会員        | 8名  |
| ご来賓         | 0名  |
| ご来客         | 2名  |
| ゲスト         | 0名  |

#### 来客者紹介 (親睦家族委員会)

|             |    |
|-------------|----|
| 1月23日(水)出席者 |    |
| 広島RC        | 1名 |
| 広島西南RC      | 1名 |



.....SMILE BOX

#### 下田敬三 会員

本日の卓話は新会員の木村 茂 会員、菅 泰晶 会員、太田 原 学 会員、大場 常幸 会員の4人の方です。楽しみにしています。

#### SAAより

本日卓話をいただきます新入会員4人の入会を祝しまして、全員出宝をお願いします。

|     |         |    |          |
|-----|---------|----|----------|
| 当日計 | 39,000円 | 累計 | 567,000円 |
|-----|---------|----|----------|

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】下田 敬三 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】瀬川 長良 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/

【FAX】082-221-4870

## 新入会員卓話

### 木村 茂 会員



ネット社会の楽しさについてお話しさせていただきます。物忘れが激しい年齢になりましたが、ネットのおかげで思い出すのが簡単

になり、また昔の出来事を正確に整理出来るようになりました。先日ビートルズのコンサートの番組をテレビでやっていたので当時を思い出しました。彼らが来日したのは昭和41年なので、私の二十歳前の話です。ビートルズのコンサートのとき、会場警備のアルバイトの話が我々の学校の体育会に来て、先輩から半ば強制的に行くように言われました。全員喜んで参加したのは言うまでもありませんでした。しかし、何故我々にそんな役が回ってきたのか長年判らなかつたのですが、ネットにはありました。昭和41年(1966年)3月15日

日本のレコード業界視察のため来日したイギリスのEMIレコード会長が「ビートルズは必ず日本にやってくるでしょう。第三次世界大戦でも勃発しないかぎり」と。

その1週間後3月22日

日本のプロモーターがビートルズのマネージャーの元へ交渉のためロンドンへ行き、日本側の提示した「1ステージ10万ドル(当時のレートで3600万円)」の条件をビートルズ側が了承。ビートルズ側の条件提示は「1万人以上収容できる屋内会場であること。入場料は6ドル以下にすること(当時のレートで¥2160)」というものでした。当時我々は¥1000握って夜の街へ飲みに行っておりましたから、そんなに安くはありませんでした。日本側もここからが大変でした。当時1万人以上入る施設は野球場位しかなく、屋内施設に限定するとオリンピック用に創られた日本武道館しかありませんでした。しかし武道館創設の目的が障害になりました。「日本武道館創建の目的は、我が国伝統の武道を、国民、とくに青少年の間に普及奨励し、武道による心身の錬磨を通じて健全な育成を図り、民族の発展に寄与するとともに、広く世界の平和と福祉に貢献することにあります」というものでした。

5月19日

テレビの対談番組で政治評論家がビートルズの武道館使用の問題に触れ、「こじき芸人に武道館を使わせてたまるか」と発言。全国のビートルズ・ファンから抗議の電話や手紙が殺到。

5月24日

当時の読売新聞社主で日本武道館会長でもあった正力松太郎氏が、「ベートルなんとかというのは一体何者だ? そんな連中に武道館を使わせてたまるか」と発言。日本武道館初代会長は、警察官僚から政治家の正力松太郎氏でした(日本テレビ社長、プロ野球読売ジャイアンツの社長、読売新聞社主)。しかし、この時点ですでに武道館の使用契約をかわし、会場使用料を払い込んでいました。また主催の読売新聞でも公演日程を公表、チケットやポスターの印刷もすでに終了していました。それがここへきて正力氏の発言を発端に、関係者やファンからの非難の声が集中。

6月9日

読売新聞に、自説をまげられない武道館会長正力氏に代わって、武道館理事長の赤城宗徳氏の声明が発表されました。『この度、女王から勲章を授けられた英国の国家的音楽使節、ザ・ビートルズが読売新聞社の招きにより、初めて日本で公演をすることになりました。(中略) 諸々の情勢を検討した結果、その使用を許可することになりました。』一転、使用許可になりました。

総合警備本部6月28日発足

民間の営業活動の為に税金を使うとは何かという人もいたようですが、のべ数千人の警察官の動員がされたようです。

実際の警備は警察官を動員していましたから、我々の警備という役割は客を指定席に案内することでしたが、コンサートの間中、役目も果たさず殆ど観客になっておりました。そんな時「僕の席はどこかな」と肩をたたかれて我に帰ったら、芸術家の岡本太郎氏でした。早速案内しましたが、今度はビートルズと岡本太郎氏が気になりました。我々の配置された二階席をあらためて見ると、年配のかたが結構おられました。日本の武道を奨励する場所というところがひっかかり許可できないと言われておりましたが、武道を志す若者を警備目的ということでアルバイトをさせ、矛先を和らげたのだと思います。何故アルバイトの話が体育会の我々の処にきたのかという若い時の謎が解明されて納得するとともに、影響力のある人の発言は国を動かしてしまうのだと感心しております。ネットに触れなければそのままであった若い時の記憶が新しい形になったのは、とても面白い経験でした。

## 新入会員卓話

### 菅 泰晶 会員

下田敬三様、山田和弘様に推薦者になって戴き、広島陵北ロータリークラブに入会させて戴きました、菅泰晶でございます。みなさま有難うございました。私は不動産事業と介護福祉事業を営んでおります。不動産は主に建売事業を、介護はグループホーム丹那、グループホーム丹那の杜、サービス付き高齢者向け住宅クラシオン丹那の運営をしています。趣味は、学生時代から続けているサッカーで毎週日曜日には試合か練習をしています。一昨年にはやった事のないことにも挑戦してみようと、登山、マラソン、トライアスロンに挑戦してみました。今年は夏に登山を計画しています。正直、社会人としてまだまだ知識も経験もない私にロータリー活動などできるのかと戸惑いもありますが、ロータリー活動も介護福祉も地域に「奉仕」するという点で同じだと思い、少しでも地域に奉仕できればと思っております。ロータリー活動を通じてネットワークを広げ、異業種の方と親睦を深め、人間として成長して行きたいと思っております。なにぶん至らぬところも多々あると思っておりますが、今後におきましては先輩会員様方のご指導を仰ぐばかりだと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。



### 大場 常幸 会員

入会のご挨拶の際もお話ししましたが、私が陵北ロータリークラブに入会したきっかけが、癌を発症しその後一線を退き時間の余裕が出来たことでありますので、癌になり何を思いました術後自分の考え方、価値観がどのように変わったかをお話したいと思っております。現在日本人の二人に一人が癌になる時代といわれておりますので、私も毎年定期検診を受け、癌保険にもはいり、青汁も毎朝飲んでおりましたが、身内に癌になったものもおらず、青天のへきれきでした。家族、友人知人も私が癌になったと言った時、「冗談だろ」と言っておりました。煙草は40歳で止め22年間1本も吸っておりませんし、アルコールは週に1~2回は休肝日にしており、睡眠は10時には寝て、朝6時には起き、毎朝1時間歩いておりました。ストレスも特にないのですが、3年前に父が亡くなりそれなりの心労もありましたが、期限内に遺産分割協議も終わり納税もしました。これと言って癌の原因になるものも思い当たらないのですが、手術したお医者さんに聞いたところ、癌発症のメカニズムは医学的に、人間には60兆個の細胞があり定期的に新陳代謝により入れ替わる際のコピーミスが原因であるという、分かったような分からないような説明を受けました。はじめに言いました私の考え方、価値観がどのように変わったかと言いますと、昨年のクリスマス例会の時、下田会長が家族の和、絆の大切さを書いたお孫さんの詩を読んでおられました。私も身をもって体験することとなりました。私は子煩悩ではありません、あまり会話もなく父親らしいことをした覚えもないのですが、手術日当日は早朝より二人の子供が病院に来て励ましてくれました。特に娘は術後、私は記憶にないのですが、いろいろと世話を焼いてくれたらしく、後で看護師さんからその様子を聞き、嬉しいというより意外な感じをもちましたと同時に、家族の存在の大きさ、ありがたさも感じました。それと退院し家に帰り変わったことは、毎朝仏壇に手を合わせることです。手術が成功し家に帰れたのはお医者さん、家族、友人知人のおかげと思っておりますが、目に見えない力と言いますか、先祖のおかげもあるかと思っております。嬉しいのは同居しております1歳8ヶ月の孫が私の横に座り、まねをして手を合わせることです。その様子は可愛く、愛らしいのですが、孫が大人になる20年後もこの平和であって欲しいと願っております。まさに今のロータリーのテーマであります「奉仕を通じて平和を」ということを実践していきたいと思っております。癌は私にとりまして大きな出来事でありましたが、これまでの生き方を反省し、これからの人生を考え、陵北ロータリー入会のきっかけになったと思っております。



### 太田原 学 会員

弊社では店舗の改装をすすめて参りましたが、この度お陰様でリニューアルが完了し、来る1月26日より、リニューアルオープンする運びとなりました。これもひとえに皆様の日頃のお引き立ての賜と改めて感謝し、さらに心機一転、地域の皆様にご奉仕させて頂く所存です。つきましては、下記、リラクゼーションの価格と新規メニューのお知らせになります。法人会員サービスもございますので、お越しくださいませ。ご多忙中とは存じますが、30分無料券を同封致しますので、お気軽にご来店下さいませ、お願い申し上げます。従業員一同心よりお待ち申し上げます。

